

Discovery H. S. Kanzaki

2019. 11. 19
第444号
兵庫県立神崎高等学校
TEL 0790-32-0209



夢を発見し実現できる学校

ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

修学旅行

11月12日(火) 早朝、「命一番」の出発式を経て、神崎高校を出発し、大阪伊丹空港へ。さらに空路沖縄、那覇空港に着。44回生の修学旅行が始まりました。



事前学習では、沖縄の歴史と文化、沖縄戦の惨禍からの復興と基地問題について学び、現地の基地のまち(沖縄市・ユザ)ではガイドさんの説明を聞き、自分の目と耳で沖縄の現在を確かめました。夕方、うるま市に向かい、民泊入村式。民泊先のご家族に温かく迎えていただきました。



11月13日(水)、この日から本格的な民泊体験の始まりです。職員は、「勝連城」と「ぬちまーす観光製塩ファクトリー」で、観光に連れてきていただいた生徒と出会うことができました。出会う生徒はみな笑顔でした。前日は、民泊初日の緊張の夜でしたが、心づくしの夕食で迎えてくださった様子でした。生徒は夕食の写真を、自慢げに披露していました。



肝高(きむたか)の勝連城(かっちんぐすく)。「肝高」は「気高い」の意。沖縄のお城らしく石

灰岩の石垣の曲線が美しい。勝連半島の丘陵にあり、半島を挟む南北の海が沖縄の日差しにきらめきます。海外からの観光客で賑わっていました。



果報バンタは「幸せ岬」。「バンタ」は「崖」の意。ここも、勝連城と並ぶ、うるま市の観光スポットで沖縄本島絶景の地で、「ぬちまーす観光製塩ファクトリー」の近くです。勝連城でアイスを食べ、ここでも塩ソフトを笑顔でほおぼる本校女子生徒を目撃しました。左はバンタからの絶景に心奪われる本校男子諸君であります。



11月14日(木)の朝、2日間お世話になった民泊先のご家族と、離村式にてお別れしました。慶良間諸島の無人島ナガンヌ島へ向かいます。



島へは那覇の泊港から二隻のクルーザー船で向かいます。前日ほどは晴れていないし、風も強く、予定どおりメニニューができなかったのですが、シユノーケリングを終えた生徒は喜色満面。しっかりと無人島リゾートを体験しました。時間調整に立ち寄った「識名園」は琉球王朝の別邸で、回遊式庭園に琉球建築が美しく調和していました。

11月15日(金)、那覇の国際通りの班別研修を終え、27度の常夏から3度の神崎へ。みんな元気に笑顔で戻って参りました。この素晴らしい4日間の体験を、今後の高校生活に活かします。



今回の旅行では多くの方々にお世話になりました。ありがとうございました。

ちょっと一言 ◇44回生は、今回の修学旅行をとおして「人とかかわる力(相補力や折合力等)」を向上させたと確信します。その力を、今後の人生に生かしてほしいと思います。まだまだ、成長中ではありますので、皆様のご理解とご協力をいただながら、よりよき大人に育てていく覚悟です。44回生の444号。4あわせな特集号ができました。皆様に感謝です。(N. A.)

・「神崎夢実現プロジェクト」
・部活動「外部指導者」・「神高部活動基金」
を募集しています。

詳しくは神崎高校へご連絡
いただくか、ホームページを
ご覧ください。

